



2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月4日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL https://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 床次 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第3四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	2,255	50.1	317	—	253	—	220	—
2019年7月期第3四半期	1,502	△18.0	△383	—	△387	—	△269	—

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 263百万円 (—%) 2019年7月期第3四半期 △280百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	27.00	26.88
2019年7月期第3四半期	△33.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第3四半期	5,518	3,826	69.3	461.69
2019年7月期	5,047	3,318	65.7	411.12

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 3,823百万円 2019年7月期 3,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,240	23.2	370	397.3	300	351.7	265	125.3	32.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 連結業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期3Q	9,562,000株	2019年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期3Q	1,281,070株	2019年7月期	1,491,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期3Q	8,158,266株	2019年7月期3Q	8,070,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による工場の操業停止や事業拠点の休業、物流の寸断などから徐々に従来の活動に戻りつつありますが、未だ収束時期の見通しが不透明な現状におきましては、予断を許さない状況が続いております。

移動体通信分野では、世界的に多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスが普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proのサービスに加え、2020年3月から一部のエリアで第5世代(5G)通信方式の商用サービスが開始されております。今後は5Gサービスの更なる進化に向けた研究開発が積極的に行われていくものと思われまます。海外におきましても、LTE-Advancedサービスに加え、先行的な5Gサービスも一部で始まり、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、企業向け及び家庭向け光ファイバの普及によるブロードバンドサービスが定着し、NetflixやAmazonプライム・ビデオ等のビデオストリーミングを中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や開発投資の需要が見込まれる一方で、通信事業者間の加入者獲得競争によるサービスの低価格傾向は定着しており、通信業界全体の投資意欲に関しましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気動向の変化を見極めつつ、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されまます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
- (iii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場における5G及びLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 1,744,587千円(前年同期比58.7%増)

当セグメントの売上高は、1,744,587千円となりました。移動体通信市場におきましては、国内大手通信事業者が2020年3月に一部エリアで5Gの商用サービスを開始し、5G向けの研究開発が継続的に行われております。そのような環境において、前第3四半期より当社における「5G」初のフラッグシップ製品となる「DuoSIM-5G」の販売を開始いたしました。当第3四半期におきましては、引き続き国内の通信事業者及び基地局メーカーに5G関連製品の販売をしたことに加え、海外向けの5G関連製品の販売を開始した結果、前年同期比で大幅な増収となりました。

セグメント損益につきましては、296,266千円の営業利益(前年同期は営業損失354,875千円)となりました。前年同期に対し売上高は大幅に増加したことに加え、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Pro向けの研究開発費及び販売管理費が前年同期比で減少したことによるものです。

(IPネットワークソリューション) 510,972千円(前年同期比26.6%増)

当セグメントの売上高は、510,972千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で大幅に増加した結果によるものです。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に増加したことに加え、研究開発費は増加したものの、販売管理費が減少した結果、21,001千円の営業利益(前年同期は営業損失28,328千円)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高2,255,559千円(前年同期比50.1%増)、営業利益317,268千円(前年同期は営業損失383,203千円)、経常利益253,563千円(前年同期は経常損失387,411千円)となりました。当第3四半期連結会計期間末において、前連結会計年度末に対して繰延税金資産が減少したことに伴い、法人税等調整額を31,129千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、220,233千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失269,824千円)となりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う当社業績への影響につきましては、現時点では精査中でありまます。今後開示すべき重大な影響が見込まれる場合には、速やかに公表いたします。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,327,081千円であり、前連結会計年度末に比べ529,179千円増加いたしました。受取手形及び売掛金が475,436千円減少した一方で、現金及び預金が906,252千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,191,837千円であり、前連結会計年度末に比べ58,094千円減少いたしました。有形固定資産が31,795千円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が32,096千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,358,442千円であり、前連結会計年度末に比べ17,222千円増加いたしました。未払法人税等が80,149千円減少した一方で、支払手形及び買掛金が168,315千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は333,639千円であり、前連結会計年度末に比べ54,821千円減少いたしました。長期借入金が61,560千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,826,836千円であり、前連結会計年度末に比べ508,683千円増加いたしました。新株予約権の行使による自己株式の処分により資本剰余金が170,180千円増加し、自己株式が71,190千円減少したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が220,233千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び最近の動向を踏まえ、2019年9月5日に公表いたしました予想を本日修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表した「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,947,516	2,853,769
受取手形及び売掛金	1,191,112	715,675
有価証券	144,475	—
商品及び製品	384,345	436,744
仕掛品	15,029	48,580
原材料及び貯蔵品	102,523	177,211
その他	12,899	95,099
流動資産合計	3,797,902	4,327,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	218,355	210,525
工具、器具及び備品(純額)	317,224	293,258
土地	16,794	16,794
有形固定資産合計	552,374	520,578
無形固定資産	96,112	94,716
投資その他の資産		
投資有価証券	334,290	341,925
その他	267,155	234,617
投資その他の資産合計	601,445	576,542
固定資産合計	1,249,932	1,191,837
資産合計	5,047,835	5,518,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,903	321,219
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	82,080	82,080
未払法人税等	80,149	—
賞与引当金	35,160	71,596
その他	190,927	83,547
流動負債合計	1,341,220	1,358,442
固定負債		
長期借入金	376,240	314,680
資産除去債務	12,221	12,324
その他	—	6,635
固定負債合計	388,461	333,639
負債合計	1,729,682	1,692,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,673,926
利益剰余金	1,081,403	1,301,637
自己株式	△505,593	△434,403
株主資本合計	3,438,904	3,900,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126,492	△81,284
為替換算調整勘定	5,740	3,978
その他の包括利益累計額合計	△120,752	△77,305
新株予約権	—	3,633
純資産合計	3,318,152	3,826,836
負債純資産合計	5,047,835	5,518,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
売上高	1,502,442	2,255,559
売上原価	579,453	927,600
売上総利益	922,989	1,327,959
販売費及び一般管理費	1,306,192	1,010,690
営業利益又は営業損失(△)	△383,203	317,268
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,921	2,914
その他	1,413	1,347
営業外収益合計	4,335	4,262
営業外費用		
支払利息	2,184	4,249
有価証券償還損	—	39,978
為替差損	6,267	19,091
その他	91	4,647
営業外費用合計	8,543	67,967
経常利益又は経常損失(△)	△387,411	253,563
特別利益		
補助金収入	23,607	—
特別利益合計	23,607	—
特別損失		
減損損失	2,867	—
特別損失合計	2,867	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△366,671	253,563
法人税、住民税及び事業税	2,500	2,200
法人税等調整額	△99,346	31,129
法人税等合計	△96,846	33,329
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269,824	220,233
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△269,824	220,233

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269,824	220,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,255	45,208
為替換算調整勘定	△687	△1,762
その他の包括利益合計	△10,942	43,446
四半期包括利益	△280,767	263,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△280,767	263,679
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月6日付発行の第7回新株予約権(第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権)の一部行使による自己株式の処分を行いました。これにより、資本剰余金が170,180千円増加し、自己株式が71,190千円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は1,673,926千円、自己株式は△434,403千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,098,982	403,460	1,502,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,098,982	403,460	1,502,442
セグメント損失(△)	△354,875	△28,328	△383,203

(注)セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、2,867千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,744,587	510,972	2,255,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,744,587	510,972	2,255,559
セグメント利益	296,266	21,001	317,268

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。